

教科名	情報	科目名	社会と情報	履修単位数	2単位	履修学年	2年次
授業形態	1クラス						
履修条件	特になし						
使用教科書	『新・みてわかる 社会と情報』（日本文教出版）						
副教材等	適宜プリントなど配付						
授業担当者	志賀 大介						

1 学習目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2 指導のねらい

情報のデジタル化や情報通信ネットワークの特性を理解し、表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する能力を養うとともに、情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解させ、情報社会に参加させる上での望ましい態度を身に付けること。

3 指導計画（70時間）（50分授業）

単元名	時間	評価方法
▼前期〔35時間〕 第1章 情報社会に生きるわたしたち ①情報を活用しよう ②情報モラルを身につけよう 第2章 コンピュータを使いこなそう ①コンピュータを使ってみよう ②文書を作成してみよう ◇実習課題〔ワード〕	20	授業の取り組み 課題の提出状況 中間考査
第3章 情報を整理して伝えよう ①問題解決をしてみよう ②データを分析してみよう ③情報をわかりやすく伝えよう ◇実習課題〔エクセル〕	15	授業の取り組み 課題の提出状況 期末考査

<p>▼後期〔35時間〕</p> <p>第4章 情報社会の課題について考えよう</p> <p>①情報化が社会の及ぼす影響と課題</p> <p>②情報セキュリティの確保</p> <p>③情報社会における法と個人の責任</p>	20	授業の取り組み 課題の提出状況 中間考査
<p>第5章 情報社会のしくみを知ろう</p> <p>①情報通信とネットワークとコミュニケーション</p> <p>②情報のデジタル化</p> <p>③情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>④望ましい情報社会を築く</p>	15	授業の取り組み 課題の提出状況 期末考査

4 課題・提出物等

ワークシート、長期休業中の欠点課題、演習課題等

5 主な評価の方法

定期考査、授業への取組・出席状況、課題への取組、提出物の提出状況・内容をもとに総合的に判断する。

6 評価の観点

関心・意欲・ 態度	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの情報機器やコンピュータについて関心を持っている。 ・問題解決の手段として、情報を効果的に活用しようとしている。
思考・判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集・処理・発信する場合において、目的に応じて、手法を改善したり、表現方法を工夫することができる。 ・情報を活用する場合に、技術面だけではなくプライバシーや個人情報の保護など、情報モラルを考慮している。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ワード、エクセルの基本的な技術が身に付いている。 ・コンピュータなどの情報機器やネットワークを効率的にかつ積極的に利用している。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における情報関連技術の役割や仕組み、社会への影響を理解している。 ・情報を適切に収集、処理、発信するための基本的な知識を身に付けている。